

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立大宮武蔵野高等学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	生徒の実態を踏まえ、より「高い目標」を持たせたいという観点から昨年度目指す学校像の見直しが図られた。学校の現状や課題などをより広く把握・分析し、目指す学校像を具体的かつ魅力あるものにできると更に良い。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	学校の取り組むべき方向として四つの柱が設定されている。やや網羅的な目標になっているため、学校の置かれた状況などを把握して、学校の将来像を明確にした上で、中期的な視点から、更に検討・整理して目標の重点化を進めることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	分掌・学年等シートが作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。学校自己評価システムを運営するための組織体制がやや不十分であるので、学校全体と分掌・学年間の連携を図り、本システムが十分機能するよう更に工夫していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	登校指導など、組織的・計画的な取組が行われ成果も見られ始めている。評価指標については、達成状況が確認しにくいものがあるので、生徒の変容などに着目した指標や、何を、いつまでに、どの程度行うのかといった視点から教職員間で目標の達成イメージが共有できるような指標を設定することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が重点目標や評価項目などの共通理解を図っている。校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深め、学校の将来についてのビジョンを共有して、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートなどを実施し、学校自己評価のための情報が収集されている。学校関係者の意見などを考察し、次年度の課題・改善策につなげているが、学校自己評価システムを有効に活用し、更にPDCAのスパイラルアップを進めていただきたい。	
特記事項			